



絵本①

す」
そう話すのは「絵本は赤ちゃんに本を与える効果は何ですか」という質問をよく受ける。そんな質問をよく受ける鳴門教育大元教授の佐々木宏さんです。

「どう話すのは、絵本は赤ちゃんに本を与える効果は何ですか」という質問をよく受ける。そんな質問をよく受ける鳴門教育大元教授の佐々木宏さんです。

「どう話すのは、絵本は赤ちゃんに本を与える効果は何ですか」という質問をよく受ける。そんな質問をよく受ける鳴門教育大元教授の佐々木宏さんです。

「どう話すのは、絵本は赤ちゃんに本を与える効果は何ですか」という質問をよく受ける。そんな質問をよく受ける鳴門教育大元教授の佐々木宏さんです。

読んで対話 子育て楽しく



乳幼児向けに作られた絵本が、数も種類も増えてきました。赤ちゃんにいつから本を与えてあげればよいのかが、育児の関心事の一つになっています。

「赤ちゃんに本を読んであげることには、深くて広い意味があります。何より、子育てを楽しみ、親と子の間で楽しいひとときをもつための助けとなりま

期教育を連想するのですが、それは違います」と言います。そして、絵本の効用として次のような点を指摘します。

▽廃れつつある手遊びや童歌に代わって、赤ちゃんとの対話を豊かなものにし、子育てを楽しむ。

▽本が関心や笑顔といった子

子育てを豊かにしてくれる絵本とのつきあい方を考えていま

どもの反応を引き出す触媒となり、子どもの好みや心理の理解を助ける。

▽親が幼児期に読んだ本を思い出とともに伝えることができ、世代間伝承の手段となる。

最近では、図書館に赤ちゃん絵本のコーナーを設けたり、乳幼児連れの来館を歓迎するところも増えてきました。地域で生まれたすべての赤ちゃんに、絵本を贈る自治体の取り組みも広がっています。赤ちゃん向けに出版される本も増えています。

この「絵本」シリーズでは、

子育てを豊かにしてくれる絵本とのつきあい方を考えていま

くらし 学び